



社会医療法人真泉会

今治第一病院

STELLAR の導入により医師、患者さま共に情報のやり取りがスムーズに



放射線部 診療放射線技師 飯田 譲次 部長

導入経緯

PACS システムのキャパシティとレスポンスの向上を目指して

2005年、他メーカーのPACSを導入しましたが、使用していく中でシステムのキャパシティやレスポンスに不満が出て来はじめました。ソフトのバージョンアップも行われましたが、満足のいく内容ではありませんでした。

また、レポートシステムの改修費も高額であったため、新しいPACSシステムの導入を検討することになりました。そこで、各メーカーにデモンストレーションを行って頂き、その中でアストロステージの製品を拝見し採用することに決めました。採用理由として大きかったのは、やはりSTELLARの存在です。操作の簡易性、データ管理のしやすさ、視覚的な分かりやすさはもちろんのこと、当時、電子カルテのキャパシティ向上を求める声も多く上がっていたため、診療データを統合的に管理できる点にも魅力を感じ、導入を決定しました。

操作性とアクセススピード

導入にあたっては操作性とアクセススピードを重視しました。具体的には、誰が見ても分かりやすく、どんなユーザが使う場合にも簡易で視覚的にも分かりやすいものを導入したいと考えていました。その点STELLARは視覚的にも一患者の様々な情報を時系列で総合的に管理でき、画面も分かりやすく要望を十分に満たしてくれるものでした。

また、STELLARからビューア、レポート、ドキュメントなどがワンクリックで閲覧でき、アクセシビリティにも優れています。さらに、NazcViewの画像表示速度も速く、画像へのアクセススピードが速かった点も院内で好評を得ていました。

上記が主な選定理由ではありますが、他メーカーと比べコストパフォーマンスに優れている点も要因となりました。

導入システム

- DICOM 画像管理システム **Nazca**
- 診療情報統合システム **STELLAR**
- ドキュメント作成&管理システム **STELLARReport**
- 遠隔読影 (放射線第一病院)

導入効果

画像を含むデータの閲覧がSTELLARにより簡易に

STELLARの導入により過去画像を含むデータへのアクセス、閲覧、管理が簡便になりました。STELLARは操作の簡易性、視覚的な分かりやすさに優れており、STELLARが導入されている端末ならどこからでも患者様の情報をすぐ見ることができるので、大変重宝しています。また、患者様への説明にもSTELLARを用いていますが、患者様へも無駄のない、分かりやすい説明を実施することができています。さらに、STELLAR、NazcaViewはログインユーザ毎の個別設定が可能であるため、この点も非常に便利だと感じています。ただ、個別設定がもう少し簡単にできれば尚良いと思います。STELLARは非常に有効なソフトで、費用対効果が高いと実感しています。



放射線部の皆さん



今治第一病院：システム導入時期 / Aug 2011



- ・私たちは、医療技術の向上に努め、質の高い医療を提供し、二次救急病院としての使命を果たし地域医療に貢献します。
- ・先進医療機器の導入により、地方でも中央と同じ医療を受けることができる病院を目指します。
- ・優れた医療のスタッフの確保を図り、教育研修の場を提供し、質の高い医療の提供を目指します。
- ・安全で働きがいのある職場環境の整備に努め、将来に亘って地域医療を担うための健全経営に努めます。

所在地：愛媛県今治市宮下町 1-1-21

病床数：90床

診療科：外科・内科・循環器科・心臓血管外科・整形外科・耳鼻咽喉科・眼科
泌尿器科・歯科口腔外科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科

今後の方針

現在、当院は常勤の放射線科医師が不在という理由から、順天会放射線第一病院 放射線科へ遠隔画像診断をお願いしております。放射線第一病院にもアストロステージのシステムが導入されているため、操作性においても非常に効率的で助かっています。将来的には、クラウドなどの活用により、画像連携・病診連携へ発展できればと考えています。

今後の期待・要望

ユーザ毎に個別設定ができる点は、非常に便利ですが、設定をより簡単にできるようになれば、今よりもっと使い勝手が良くなると思います。また、病診連携、遠隔読影の分野においても今後さらなる発展を遂げられることを期待しています。

システム構成図

